

令和 6 年度()第 集管工8 号

件名：川西地区マンホール蓋取替更新工事

仕 様 書

事業主体 名張市（上下水道事業）

施行主体 名張市（上下水道事業）

概 要 書

施行場所

名張市

大屋戸

地内

設計金額

一金

円

(内消費税

円)

工期

日間

(令和7年1月31日 迄)

事業量

$\Sigma N=6$ 箇所

工事の概要 (摘要)

高機能型マンホール蓋 $\phi 900 \times 600$ T-14 : N=3箇所

高機能型マンホール蓋 $\phi 600$ T-25 : N=1箇所

高機能型マンホール蓋 $\phi 600$ T-14 : N=2箇所

位置図

1:10000



施行箇所

名張市上下水道部



この地図は配管の概略を表示したものです。
計画等にあたっては現地での確認調査が
必要です。

特記仕様書

1. 一般事項

1) 本工事の施工は、契約図書に基づき、下記に示す図書（以下「共通仕様書」という）の他、この特記仕様によるものとする。

①名張市上下水道事業契約規程

②三重県 県土整備部制定「三重県公共工事共通仕様書」

③一般社団法人 地域環境資源センター発行「農業集落排水施設 設計指針」

④日本下水道新技術推進機構発行「次世代型マンホールふたおよび上部壁技術マニュアル」

2) この特記仕様書と共通仕様書並びに契約図書の記載内容に差異があった場合の優先順位は下記の通りとする。

1. 特記仕様書 2. 契約図書 3. 共通仕様書

3) 施工計画

共通仕様書等に示すものとする。

4) 工事用地の使用

共通仕様書等に示すほか、下記によるものとする。

工事に伴う民地等の借地については、事前に地主の承諾を文書で取り交わすこと。又、借地に伴い、周辺の土地に支障を与えないように地元関係者と協議し承諾を得てから施工すること。この場合、地元要望等の措置は、受注者の負担で行うこと。また工事により施設等を破損させた場合は受注者の負担で補修を行うこと。農地を借地する場合は農地の転用の手続きを行うこと。受注者名・電話番号を記入した看板を見易い位置に設置し、近隣住民へ迷惑のないよう努めること。

2. 使用材料

1) 本工事に使用する材料は、共通仕様書に示すほか、下記の基準並びに仕様による。

日本下水道協会認定の製品及びこれに準ずるものであること。工事材料の使用にあたっては、規格証明書等を添付した使用材料調書を提出すること。承諾に当たっては試験及び検査を実施することがある。この場合の試験及び検査に要する費用は受注者において負担すること。

2) 材料確認（検査）調書

共通仕様書等に示すほか、使用材料については材料確認（検査）調書を数日前に監督員に提出し、確認（検査）を受けること。

3) マンホール蓋の仕様

本工事で使用するマンホール蓋は高機能型（本市が定める高機能型とは通常型と比較して、耐磨耗、くい込み防止、耐食等の性能について有利であるもの）とする。高機能型については、そのメーカーのマンホール蓋が名張市に認定されており、工場等での試験結果を提出し本工事に使用する製品として、条件を満たしていると監督員が判断した製品についてのみ使用を許可する。ただし、監督員の判断により、試験及び検査を実施することがある。この場合の試験及び検査に要する費用は受注者において負担すること。

3. 施工及び施工管理

1) 本工事の施工に関し、共通仕様書等によるほか、下記によること。

①常に工事の安全に留意し、現場管理を行い災害の防止に努めること。尚、受注者負担の工事に起因する損害発生の予防措置等についての報告をすること。又、発生した損害の応急措置並びに復旧についても受注者の負担で行うものとする。

②施工機械については、排出ガス対策型とするが、使用が困難な場合は理由書の提出により変更する場合もある。排出ガス対策型建設機械を使用する場合は、施工計画書の中で、(1)機種 (2)メーカー名 (3)形式 (4)台数等を記載するものとする。また、「指定ラベル」が確認できる工事写真を提出するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械を使用しない場合は、設計変更の対象とする。ただし、機械損料に差額のない機種についてはこの限りでない。

2) 施工方法について

①舗装版切断は円形カッター工法で施工すること。

3) 本工事で発生する残土等は、下記により処分すること。

①本工事で発生する残土は、自由処分とする。

②公共事業での現場間で残土流用する場合については、事前協議したうえでこれを優先する事ができる。

③コンクリート殻・アスファルト殻の処分については、それぞれの殻処分が可能な再生再資源化施設又は、中間処理施設に搬出し処分すること。

4) 交通誘導員の体制は、下記によること。

各施工箇所における交通誘導員の基本配置は、次のとおりとする。

A : 1名 B : 2名 配置 (昼間作業・交代要員有)

地元調整・交通量・関係機関との協議により交通誘導員の配置・員数が変更となる場合がある。なお変更設計は、実績員数に関わらず積算日数と配置員数により算出する。

5) その他

①交通障害に関しては、監督員及び関係機関 (消防署等) に施工箇所・規制状況の連絡を事前にする。又、作業終了次第、監督員及び関係機関に作業終了の報告をすること。但し、各連絡、報告の方法等については、監督員及び関係機関との協議を行うこと。

②交通規制については、他工事の規制も考慮し、地元調整を行い、回覧等により住民に周知すること。工事を円滑、効率的に実施する為、受注者は工事着工前は勿論のこと工事中においても、必要に応じて工事の内容 (交通障害等) を地元住民、通行者及び他工事の関係者に周知するとともに、協力を得るための必要な対策を講じること。

③受注者の都合により住民に周知した工程を変更しないこと。

④本工事における休工日は日曜日・祝日・ほか (盆・年末年始・地元行事など) とする。但し、土曜日・祝日の作業については、関係機関及び地元と協議し決定する。昼間の作業時間は9:00~17:00を厳守すること。

⑤工事により少なからず現場 (土場や資材置場付近およびそれらから現場までの経路を含む) を汚すので、ゴミや側溝の土砂等を清掃すること。また除去できない当初からあるゴミや側溝の土砂は着工前写真を撮っておくこと。

6) 安全・衛生管理

受注者は、労働災害はもとより、物件損害等の未然防止に努め、労働安全衛生法、酸素欠乏症防止規則、ならびに市街地土木工事公衆災害防止対策要綱等の定めるところに従い、その防止に必要な措置を十分講じなければならない。

①安全管理

- ・有資格者の適正配置
- ・下水道管内作業に適した保護具の着用
- ・施工前の安全対策（情報収集）
- ・施工時の安全対策
- ・周辺環境への対策
- ・災害防止についての対策

②施工中は換気を行い、ガス探知器を設置し、酸素濃度等の監視をすること。

③供用中の施工における排水対策

④安全に関する研修、訓練

7) 施工環境管理

受注者は、施工中の環境に配慮するために次の環境対策を講じなければならない。

①工事広報

②粉じん（塵）対策

③騒音、振動対策

4. 提出図書等

1) 共通仕様書等による提出書類のほか、下記の書類を提出すること。

①監督員が必要と指示する書類を提出すること。また提出は監督員の指示する期限を厳守すること。

②工事完成通知書には、各路線で着工前・施工中・完成をまとめた写真帳を2部添付すること。

③着工前と完成後で現場状況（構造物・舗装等）を対比できる写真を提出すること。特に、工事沿線の家屋・擁壁・塀・その他すべての構造物・官民境界付近・民境界付近は所有者確認うえで撮影（必要に応じ立会写真必要）しておくこと。全景写真、工事前後でクラックの有無比較ができる大きさの写真が必要である。なお、工事施工に伴って通常発生する、物件等の毀損の補修及び騒音、振動、濁水、交通騒音等による事業損失に係る補償費は現場管理費に含まれる。

④提出書類はA4判チューブファイルに整理し提出すること。その他監督員の指示によるものとする。

5. その他

1) 受注者の事前調査不備のため生じた補償は、受注者の負担とする。又、受注者の立場としての地元調整を行い、調整不足による苦情等は、受注者で解決すること。

2) 用便は所定の場所（仮設トイレの設置等）で行うこと。現場には灰皿・ゴミ箱を設置し、必ずこれを使用すること。交通誘導員を含め全作業員に徹底すること。

3) 工事中表示板（工事看板）には、受注者名と電話番号、発注者名（名張市下水道維持室）と電話番号（0595-63-7102）を明記すること。

4) 特記仕様書・契約図書・共通仕様書に定めのない事項や変更が必要な事項については、監督員の指示によるものとする。

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	工事名	当初	事業区分	下水道
							川西地区マンホール蓋取替更新工事		工事区分	管路
管路		式		1						
施設整備		式		1						
汚水排水設備工		式		1						
マンホール上部撤去工	φ 900	式		1						
マンホール上部設置工	φ 900	式		1						
マンホール上部撤去工	φ 600	式		1						
マンホール上部設置工	φ 600	式		1						
全工種共通 (仮設工)		式		1						

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
工事名		当初		工事区分	管路	
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員A		人		4		
交通誘導警備員B		人		4		
直接工事費		式		1		
共通仮設		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		

工事数量総括表

	工事名	川西地区マンホール蓋取替更新工事			当初	事業区分	下水道
		工事区分	共通仮設費				
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
工事原価		式		1			
一般管理費等		式		1			
スグリップ へび HS 0.99 t		式		1			
工事価格		式		1			
消費税相当額		式		1			
工事費計		式		1			